

6の2

家庭科学習指導案

6月13日(水) 4限 家

庭室

授業者 藤本文乃

1 題材名 合宿を気持ちよく part 2～い(衣) 一服選ぼう!～

2 本題材における知識創造

自分の課題をもって試したり調べたりすることを通して 衣服の選び方や着方によって 合宿でより気持ちよく快適に活動できることに気づき 合宿での衣服選びに生かそうとする営み

本題材は、普段何気なく着ている衣服に関心を持ち、衣服のはたらきを知り、生活場面に応じた着方ができるようにすることをねらいとしている。事前アンケートによれば、衣服を買うときの決め方として、デザインを上げた子が約70%で、以下色53%、価格38%、動きやすさや着心地は20%であった。また、65%の子が家の人と自分で相談して買う服を決めているが、26%の子は家の人で決めていると答えている。衣服のはたらきについては、82%の子が暑さ寒さを防ぐことをあげたが、それ以外は吸水性、ケガを防ぐ、日焼け防止を15%の子があげたに過ぎない。子どもの衣服に関する関心は、デザイン、色、などであり、そのはたらきを意識して着てはいない。また、毎日の生活で着る物を自分で決めている子もいれば、親にあてがわれた物を何気なく着ている子もいる。そのような子どもたちに、1日の生活場面をとりあげて衣服のはたらきや着方を考えさせても、実感をもつことは少ないであろう。そこで、6月の26,27日に国立能登青少年交流の家で行われる宿泊体験学習(以下合宿とする)をとりあげ、合宿を気持ちよく過ごすことを大きなめあてとし、part 1では食事の選び方、part 2では衣服の選び方、part 3では衣服の手入れを扱う。気持ちよくとは、衛生的で自分の健康や成長のためになり、活動に適していると言うことである。合宿という子どもたちが楽しみにしている行事を通して学ぶことで、当事者意識を高め学んで得たことを自分の生活と結びつけることができるようにする。

合宿では、1日目が野外炊飯、キャンプファイヤー、2日目がカッター、ディスクゴルフ、自転車の3つに分かれての活動を行う予定である。まずそれぞれの活動場面を想像し、快適で活動しやすいためには、どのような衣服がよいか考える。子どもは、活動ということから動きやすい、涼しい、汗を吸う、暑さや寒さの調節といったことをあげるだろう。それらは実際どういうことなのかについて、自分の課題をもち衣服の布地などを観察したり実験したりする体験的な活動を行うことで、実感を伴って気づくようにする。また、あまり意識することのない衣服のはたらきにも気づくと思われる。そして、自分が学び得た知識を生かして選んだ衣服を着て合宿の活動を行うことで、自分の衣服の選び方が良かったのか、学んだことが生かされたのか実践的に体験できる。このような体験を通して、日々の衣生活にも関心を広め自分の衣服を目的に応じて選び取っていける実践的な力を育みたい。

3 知識創造の力を育むために

(1) 本題材におけるかかわりの活性化

本題材で知識創造に向かうための山となるかかわりの場は大きく二つあるととらえる。一つは課題について見通しを持って追究していく過程である。もう一つは、それぞれのグループの課題解決の結果を交流し自分のこととしてとらえ直す場である。

課題追究の場では、実験方法を決め実験を行い結果から結論を導き出したりする一連の活動において、グループの中で個々の考えを出し合い、互いの考えを理解しようとしたり、よさを取り入れたりしながら課題解決に向かおうとする。

各グループの交流の場では、自分と同じ課題はもちろん、自分とはちがう課題に関心をもつことが大切である。ほかのグループが調べたことも、自分にとって関係があり衣服選びの役に立つことであるという意識をもって交流できなければ意味がない。伝え合う活動のなかで、他グループの結果を自分なりに解釈して、どの活動場面にそれを生かして衣服を選んだらよいか考えるようにする。

このように、かかわりながら学んだことを自分の衣服選びに生かし、よりよいものにしようとする姿を本題材における「かかわり」の活性化ととらえる。

(2) 本題材における「かかわり」を活性化する手だて

課題解決のための活動とその交流を、いかに実際の衣服選びに結びつけるか。そのためには、学習前の自分の衣服の選び方、着方に気づかせること、活動場면을豊かにイメージさせること、観察・実験など実体験を取り入れ衣服のはたらきに気づかせることが重要である。これらを考慮して「かかわり」を活性化する手だてを以下のように考える。

●自分の衣生活を見つめる場を持つ

衣服の選び方や着方、好みなどを出し合うことで、多様な生活の仕方や価値観に気づき、自分の衣生活への関心や課題意識を高める。

●衣服を選ぶ観点を焦点化する

衣服を選ぶ観点はいろいろある。それらの中から、皆に共通して大切な衣服のはたらきに目が向くような観点をとりあげる。その観点をもとに課題を追究することが衣服のはたらきへの気づきをうながし、合宿を気持ちよく行うためのよりよい衣服選びの実践につながっていく。

●体験的活動を取り入れ交流の必要感をもたせる

実験や実物にふれる機会をとり実感を伴った課題追究ができるようにする。実験の際は目的や結果の見通しを明確にして行う。実験は各班一人一人がちがう実験に取り組み、それを班に持ち帰って紹介し合うようにすることで交流の必要感をもたせる。

4 学習計画（総時数6時間＋課外）

主な活動と内容	「かかわり」を活性化する手だてと意図
<p>1 課題をもつ <合宿に必要な服を考えよう> ・どんな活動をするのかな ・活動によって着る服はちがうよ ・衣服の着方も考えないといけないよ ・活動内容を考えて服を選んだら良さそうだ ・活動によってどんな着方をしたらいいのかな</p>	<p>想起 普段の服選びや失敗経験、昨年の合宿のことなどを交流する場を設定し、衣服選びへの関心を高める。皆に共通する観点到に注目させることで、衣服のはたらきや着方に観点到を絞っていく。</p>
<p>2 課題解決に取り組む <布の性質や衣服のはたらきを調べよう> ・合宿の活動に応じて衣服の着方がありそうだ ・布の性質を調べる実験方法を話し合おう</p> <p><実験をして結果を交流しよう> ・協力して実験しよう ・実験で分かったことを班の人に伝えよう ・自分とちがう課題の実験結果と合わせて着方を考えよう ・衣服のはたらきを重視して合宿に持っていく服を考えるよ</p> <p><合宿に必要な服を考えよう> ・活動毎に着る服を考えるよ ・紹介しアドバイスし合おう ・合宿に着る服、持っていく服が決まったよ</p>	<p>表出 実験の目的を明確にし、実験方法のアイデアを話し合う場を設定する。実験方法を決める参考となる資料を提示し見通しをもたせ意欲を高める。</p> <p>共有 実験結果の交流に際しては、結果だけでなく実際の衣服とつなげた結論を述べるようにし、着方が明確になるようにする。</p> <p>結合 実験結果の交流をまとめるワークシートを用意し、はたらきを重視して服を考えることを意識づける。</p>
<p>3 ふりかえる <服の選び方はよかったかふりかえろう> ・活動毎に気持ちよく過ごせたかな ・普段の生活の中でも衣服の選び方・着方を考えていこう</p>	<p>結合 ふりかえる観点到を明確にし、新たに得た知識や考え方が自分にとって意味があったかどうかをふりかえる。そして、これからの生活の中でも生か</p>

	していけることに気づくようにする
--	------------------

5 本時の学習（3 / 4）

（1）めざす知識創造 ・実験を通して衣服のはたらきや着方を実感を伴って理解し結果を交流することで、合宿に必要な衣服を考えて選ぶとする意識をもつ

（2）展 開

主な活動と内容	時	「かかわり」を活性化する手だてと意図
1 実験の目的を確認する <u>実験から衣服の着方を考えよう</u>	5	
2 グループ毎に実験し、結果をまとめる <実験> ○吸水性 ・下着の布は水をよく吸うな。なぜかな。 ○温度調節 ・着方によって保温に差があるのだな ○通気性 ・ジャンパーのような布は風をあまり通さないな ○のびやすさ ・下着の布はやはり良くのびるな ・デニムはあまりのびないよ <結果のまとめ> ・下着の必要性がわかったよ ・暑いに日中の活動は汗をよく吸う服がいいな ・ブラウスよりTシャツのようなものの方が良さそうだ ・自転車など体を動かす活動では良く伸びる布がいいね ・夜の活動では風を通しにくい上着があるといいね ・布地も選ばないといけないね ・織り方のあらいものを着ると涼しいよ	15	<u>表出</u> 意欲的に実験に取り組めるように、課題によってグループ編成をするが、一人一人が役割を持って実験に取り組めるように6人を超えないようにし役割分担させる <u>表出</u> 実験結果から衣服のはたらきや着方を考えるということを確認してワークシートにまとめるようにすることで、実際の衣服と実験結果がむすびつくようにする
3 自分の班にもどり結果を交流する ・実験結果と分かったことを分かりやすく話そう ・友達の発表から分かった大切なことをメモしよう ・着方によって気持ちよく過ごせそうだ	15	<u>共有</u> 実感を伴って理解できるように実験を再現したり実物を示したりするなど、交流の仕方を工夫させる 結果と衣服の機能や着方を結びつけた板書をするので、交流の観点を意識づける
4 交流をもとに自分が服選びに生かしたいことをワークシートにまとめる ・汗をよく吸う綿のTシャツにしよう ・友達の発表のよさも書こう ・衣服のはたらきや着方の観点も考えてよりよい服選びをしよう ・自分の服を見てこよう	10	<u>結合</u> 数名に発表させ、どのような観点をまとめるかを明確に示す